

別紙3 評価基準書

評価項目		評価の視点	評価点
基本事項	事業遂行能力	会社の規模、経営状況等に問題がないかを評価する。	10
	関連業務導入実績	地方公共団体において、本業務と同種又は類似の業務を受託した実績、及び本市と同規模自治体での導入実績を有しているかを評価する。	40
	アカウント管理	窓口DXaaSの活用範囲が拡大する場合を見据え、利用アカウント数を柔軟に増減させることが可能であるかを評価する。	20
システム導入	システム導入体制	必要な人員配置や主要人員の有する資格、実績等、円滑なシステム導入が可能な体制が整えられているかを評価する。	40
	スケジュール	各関連業者、セクションの責任分界点を明確にし、指定した本稼働日に確実に運用が開始できるよう各工程に工夫があるか、本市職員の負担軽減策について具体的に示されているかを評価する。	30
	運用に関する支援体制	導入したシステムをどのように運用すれば本市の課題の解決につながるのか、システム導入前の業務分析や導入後の運用に係る提案など、システム運用設計の提案内容を評価する。	30
	要件定義	要件定義作成に当たり本市と十分な協議を行い、市側の見落としや認識齟齬を防ぐ提案が示されているかを評価する。	10
	帳票作成	帳票パッケージの充実度、様式の見直しを見越した設計の自由度があるか等、各提案事業者の提案内容や工夫があればそれを評価する。	30
	テスト	スムーズに本稼働に移行できるようテスト工程が具体的に示されているか、本市職員の負担軽減策について具体的に示されているか、及び本稼働後に不具合が出た場合に備えた対策がとられているかを評価する。	30
システム連携	システム連携（前方連携）	他社住民記録システムベンダとの連携実績及び構築時の実現性や運用時における連携の迅速性、保守対応について評価するほか、標準化移行を見据えた提案がされているかについて評価する	30
	システム連携（後方連携）	各住民記録システムベンダとの連携実績、及び構築時の実現性や運用時における連携の迅速性、保守対応について評価するほか、標準化移行を見据えた提案がされているかについて評価する。	30
システム機能	システム機能要件回答	本市が求める機能要件が十分に実現できているかを評価する。	70
	システム稼働環境	既存のシンクライアント端末上で稼働させることができる場合加点評価する。	40
	入力支援機能	住所や方書きの入力を補助する機能により、本市職員の負担軽減につながると評価される場合加点評価する。	20
	外国人の一括転入	外国人の大量転入時の手続き等に工夫があると評価される場合加点評価する。	30
	支援措置対象者の視認性	支援措置対象者に係る手続きを行うに当たり、対象者であることをシステム操作職員が判断しやすいシステムである場合加点評価する。	20
	市民目線	電子サイン等を活用し、申請者が手数をかけずに各種申請を行えるようなシステムとなっていると評価される場合加点評価する。	20
運用・保守	運用・保守（障害発生時を含む）	導入後のシステム運用が滞りなく、円滑に行えるサポート体制となっているか、保守対応や障害発生時の迅速に対応できるかについて評価する。	50
	職員に対する支援体制	導入前後の研修体制等の支援体制全般に関して、方法、回数だけでなく、運用効率を高めることができる提案がされているかを評価する。	30
	稼働状況の分析と改善提案	システム導入後の稼働状況の分析や、改善策の検討まで見据えたユーザーへの伴走型支援に関して、各提案事業者の提案内容を評価する。	30
将来性、拡張性	仕様外提案（見積範囲内）	仕様書や機能要件に記載された事項以外に、提案業者の工夫内容で本市にとってメリットがある提案があればそれを評価する。	10
	将来性、拡張性（見積範囲外）	本事業と関連性が高く、将来的に拡張を視野に入れる提案内容があればそれを評価する。	10
プレゼンテーション	プレゼンテーション評価	プレゼンテーション実施により提案内容の妥当性、説明力及び質疑に対する対応力を評価する。	20
見積価格	トータルコストに関する評価	システム導入費用及び維持管理に係る経費を比較評価する。	50
			700